

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします

2024年度 春学期・夏学期開講

科学技術政策特論

第16回講義

予算面から考える日本の科学技術政策

－ 日本が「科学技術立国」として「再生」するには －

北海道大学公共政策大学院・法学部 教授

村上 裕一 氏

村上先生からのメッセージ

日本の研究開発費総額の対GDP比は世界的に見て高い水準にありますが、そのうちの政府負担割合は他の先進諸国よりも低水準にとどまっています。また、日本では第2期科学技術基本計画以降、研究開発投資目標額が達成されていません。これは一体なぜなのでしょう。

日本が「科学技術立国」として「再生」するにはどうすればよいかを検討するための1つのアプローチとして、私の講義では、日本の科学技術政策を行政学・公共政策学の観点から、より具体的には政府予算の面から、考えてみたいと思います。それを通して、日本の科学技術政策の特徴を皆さんに知っていただければ幸いです。当日は、最近の政策動向もお話しする予定です。

日時： 8月2日(金)

5 講目 16:30-18:00

受講方法：

オープンホールによる対面授業

村上裕一先生

愛媛県出身。2006年東京大学法学部卒業。2012年東京大学大学院法学政治学研究科修了、博士(法学)。独立行政法人日本学術振興会特別研究員、東京大学特任講師、北海道大学准教授、フランス・ボルドー政治学院客員研究員などを経て、2024年から現職。

担当：工学系教育研究センター 小崎完教授